

# 2023岩国行動

11月18～19日、岩国反基地国際行動が開催されました。大阪支部では4名が参加し、2日間に渡って約100名が全国から集まり、労働者反戦集会、国際連帯集会、岩国基地をめぐるフィールドワーク、野外集会、そして岩国基地反対のデモに取り組みました。



1日目は、岩国労働者反戦交流集会が岩国市福祉会館で開催されました。各地の報告として陣内副委員長から、韓国で開催された労働者大会の映像と自衛隊配備に抗議する沖縄地本のたたかいについて報告されました。そのあと、ケアワーカーズユニオンから労組・労働活動家漬しのスラップ訴訟を打破し、勝利的判例を勝ち取ったこと、そして、関西生コン労組から、労組破壊攻勢の大弾圧との激しい攻防の数々の報告が行われました。そして、全体に基調報告の提起が行われました。

現地の岩国からの報告では、「岩国基地が米4軍（海軍・海兵隊・空軍・陸軍）の大規模展開の基軸となっている。爆音も酷く第2次爆音訴訟を開始した。しかし岩国市長と米軍が共存を宣言しているが、反基地運動をすすめ、来年1月の市長選に反基地住民派の候補で闘う」と訴えがありました。

2日目は、台湾労働人権協会からの話、韓国AWC委員からの話、

ともに日米帝国主義の「台湾有事」「朝鮮半島有事」を欺瞞的に宣伝した侵略戦争が核の攻撃に対して、アジア規模の反戦反基地連帯の重要性や労働者人民の解放闘争などが訴えられました。



岩国基地からは、悪質な米兵による犯罪の発生、まやかしが様々なに繰り広げられていることと、爆

## ワンチームとなって!

11月22日(水)に、第38回全港湾大阪支部青年部定期総会が地本会議室にて、青年部新旧役員、青年部担当執行員、総勢18名で開催されました。

開会に先立ち國分副委員長のあいさつから始まり、その中で、「近年各支部の執行委員は世代交代をして若い世代が活発に活動しており、大阪支部もその時期が近づいてきています。青年部での活動において、いろいろな事を学習するだけではなく、全体をみて1人ひとりの判断で活動して、失敗する事もありますが、その失敗も糧にして青年部一丸となり頑張ってください」との激励の言葉をいただきました。

自分自身青年部長として反省する事ばかりでしたが、もう一度初心に戻り、やれる事は率先して行い、大阪支部青年部のメンバーとワンチームになって頑張っていきたいと強く感じました。

音訴訟など新たに闘いを進めていることなど現状の報告がありました。

最後に共同代表者からの発言を全体で確認しました。

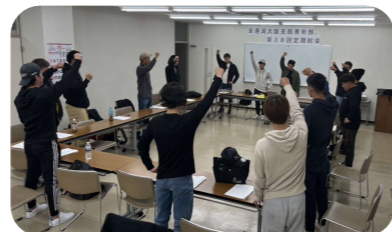
そして、岩国市役所前で集会を行い、参加者からのアピールを受け、その後岩国基地まで約1時間のデモ行進をして2日間の行動を終えました。

今回、初めて岩国基地反対集会に参加し、日本全国の米軍基地周辺で生活をしている住民は、戦闘機の爆音、墜落事故や、米兵による交通事故・窃盗等の犯罪に巻き込まれ相次ぐ事件・事故に、とてもよき隣人とは言えないと確信し、米軍基地を撤去するまで市民と労働者が一体となり継続した行動が必要だと感じました。

(執行委員 田村 吉雄)

その後、一般活動報告、財政報告、運動方針、会計予算案、役員改選を行い、新役員あいさつで各人が抱負を述べた後、僕の「団結ガンバロー」で、定期総会を締めくくりました。

まだまだ至らない自分ですが、新たなメンバーとともに、みんなで楽しみながら大阪支部青年部を盛り立てて行きたいと思います。(青年部長 芳野 栄次)



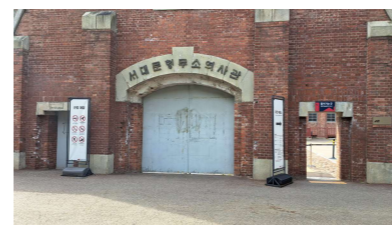
## 訪韓記

# 若き韓国労働者に圧倒される

11月10日～13日、日韓労働者連帯の訪韓団に陣内副委員長と参加し、全国民主労働組合総連盟（民主労総）全北地域本部と交流してきました。

### チョン・テイル記念館

10日は金浦空港に到着後、全泰寺（チョン・テイル）記念館を見学しました。全泰寺は、1970年11月13日、劣悪な労働条件改善を求める抗議集会を行ったが、警察に強制解散させられそうになったため、「勤労基準法を遵守せよ。私たちは機械ではない。労働者を酷使するな。そして、私の死を無駄にするな。」と叫びながら焼身自殺し、22歳で亡くなりました。



彼の死は韓国社会に大きな衝撃を与え、民主主義の質を高める役割を果たし、今なお韓国の労働運動の象徴として記憶されています。

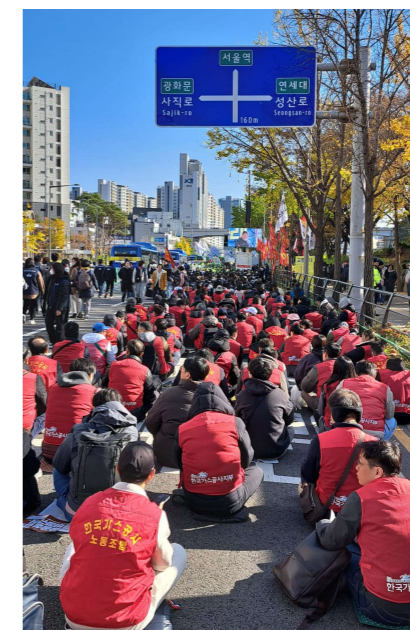
11日は朝から日本商工会議所で韓国オプティカル関連の抗議行動・申し入れに参加しました。

### 全国労働者大会

昼からはソウルの統一路で開催された民主労総主催の全国労働者大会に参加しました。全国から約4万人の労働者・市民が参加し、半数以上が20代～30代の若い世代でした。

集会は労働組合および労働関係

調整法改正案の即時公布・施行を促し、尹錫悦（ユン・ソクヨル）政権退陣と声を挙げました。同改正案は下請け労働者に対する元請け企業の責任を強化し、ストライキを行った労働者に対する企業の過度な損害賠償請求を制限する内容が盛り込まれています。

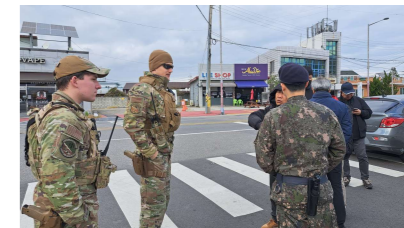


これに対し、経営側や政府は反対の立場を明確にしており、尹大統領が拒否権を行使する可能性があります。集会終了後は全北本部のバスに乗り、全州へ移動しました。

### 群山米空軍基地へ

12日は完州松広寺を見学して群山へ移動、群山米空軍基地では住民から土地を収用して日本軍が飛行場を建設し、米軍が駐留後も拡張を繰り返し、その度に土地を収用していると説明がありました。「土地を返せ！米軍は出てゆけ！」と沖縄と同じ様に反対運動が行われています。

メインゲートから基地の写真を



撮ると、兵士がやってきて写真を消去させるという今までに経験したことのないこともありました。また、群山基地の横にはセマングムという広大な干潟があり、干拓事業がすすめられていますが30年以上たっても10%も進んでいません。周辺の漁業者や環境保護団体が反対運動を行っています。



この日の夜は今年の第24期訪日団のメンバーが交流に来てくれました。言葉はほとんどわかりませんが、熱い気持ちで夜遅くまで交流が続きました。皆さん酒が強く圧倒されました。

訪韓団は16日までですが、私と陣内副委員長は、予定があって13日に帰国しました。

今回初めて参加しましたが、若い世代が多いのもあり、韓国の労働者のパワーは圧倒的で、労働弾圧に立ち向かい、集会も盛り上がり、私たちも負けていられないと思いました。頑張っていきたいと思います。

(書記次長 関谷 和人)